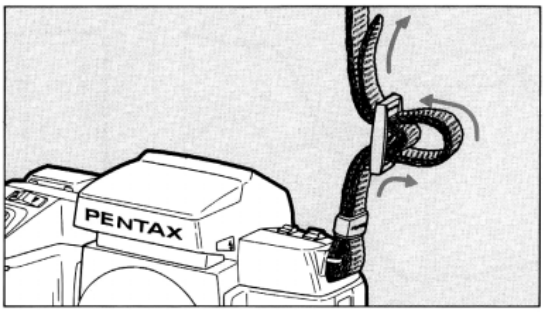
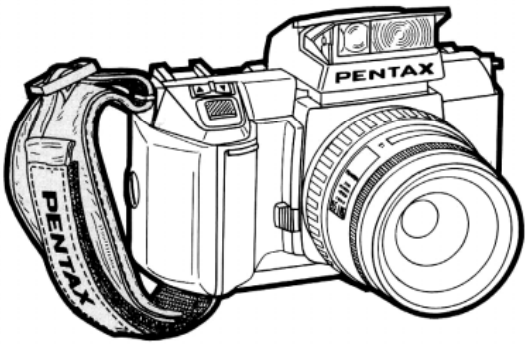
準備編

1. ストラップを取り付けます



図のように、ストラップを取り付けます。

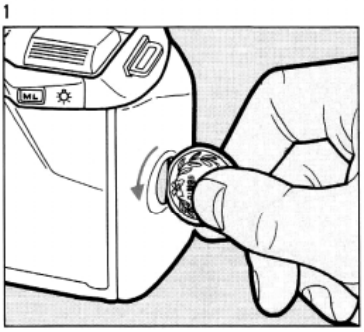
- 歩行中にカメラが揺れにくいように、腰より上に来る長さに調節すると良いでしょう。



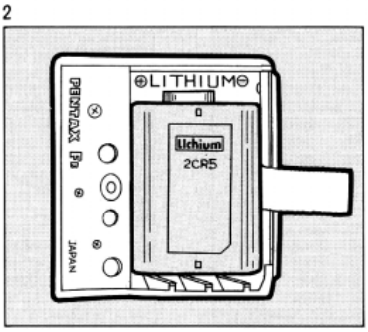
グリップストラップF〔別売〕

2. 電池を入れます〔リチウムバッテリーグリップF$_B$〕

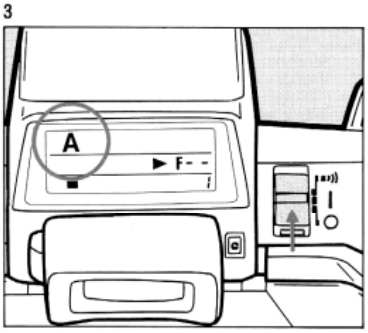
1



2



3



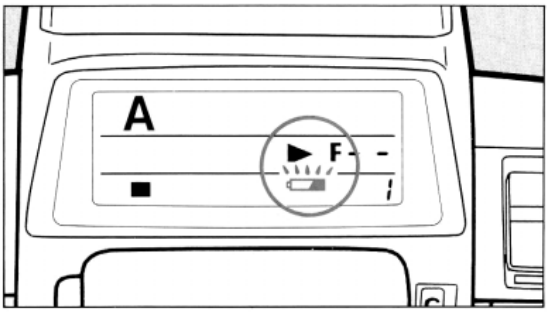
SFX$_N$は電池で動きますから、操作をする前には必ずきめられたリチウム電池 2CR5 を1個入れます。SFX$_N$には、サンプル用に電池が添付されていますので、この電池でお試しください。

リチウム電池は下表の物、または同等品をご利用いただけます。

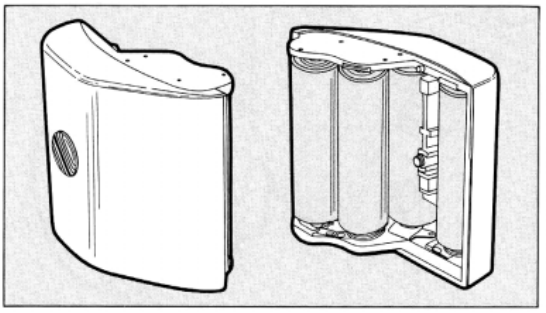
国内で購入できる電池		海外で購入できる電池	
2CR5$_M$	パナソニック製	EL2CR5	エバレディ製
2CR5	三洋電機製	2CR5	三洋電機製
2CR5	日立マクセル製	KL2CR5	コダック製
2CR5	ソニーエナジーテック製	2CR5	ファルタ製
DL245	デュラセル製	DL245	デュラセル製

1. 図のように、バッテリーグリップ固定ネジをコインなどで左方向に回して取り外します。
2. バッテリーグリップ内側の⊕⊖表示に合わせて電池を入れ、バッテリーグリップを取り外したときとは逆の手順で取り付けます。
3. 電源スイッチを | か))) にし、図のように A の表示が出ることを確認します。

※



※電池が消耗したとき
図のように、[▭]が点滅したときは電池が減っていますから早めに交換してください。
〔点滅中でもシャッターが切れなくなるまでは写せますが、早めに電池を交換しましょう。〕

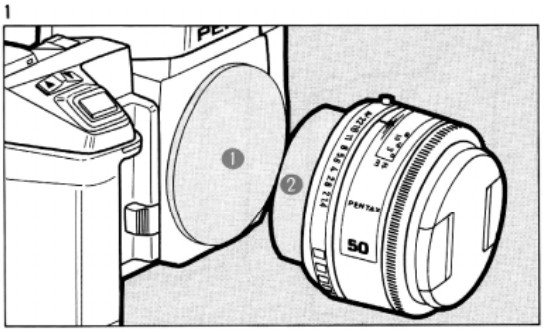


別売リアクセサリー「単3バッテリーグリップF_B」は、単3形乾電池を4本取り付けて使用します。電池を入れるときは、⊕⊖表示に合わせて正しく入れてください。〔⊖側を先に入れ、出すときは板バネ側⊕から出してください。〕

使用可能電池は単3形アルカリ乾電池 **LR－6** です。
- 単3形マンガン乾電池 **SUM－3** も使えますが、撮影本数は極めて少なくなるので、アルカリ乾電池の使用をおすすめします。
- Ni-Cd電池は使用できません。

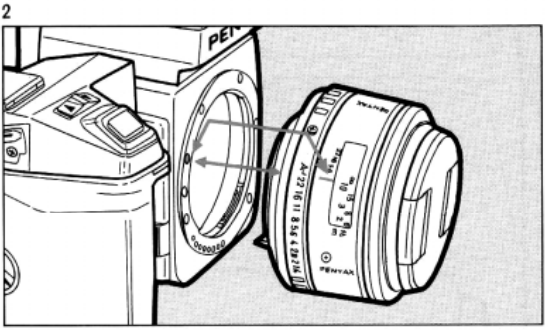
3. レンズを取り付けます

1



1. 図のように、❶のボディーカバーと❷のレンズ後カバーを外します。

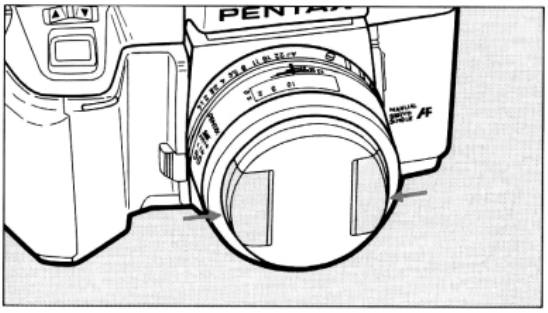
2



2. ボディーとレンズの赤点指標を合わせて、レンズをボディーのマウントにはめ込み、レンズを右方向〔時計回り〕に回して、「カチッ」という音がしたら、取り付け完了です。

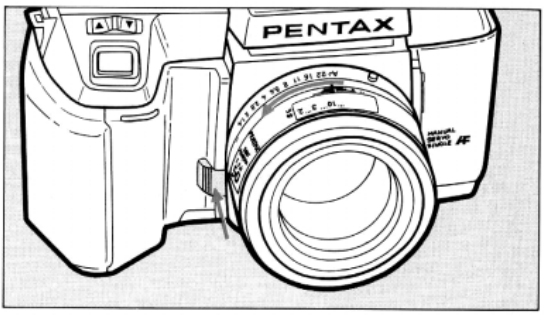
- ボディーカバーは工場出荷時のキズよけやホコリよけ用のものです。
保管用には別売りの「ボディーマウントキャップK」をご利用ください。

3



3. レンズの前キャップを図のように、両側の矢印部分を押して外します。

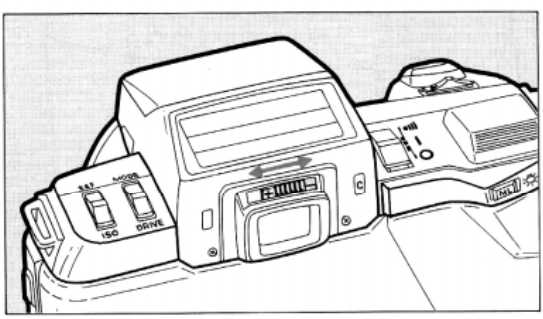
4



4. レンズを外すときは、図のようにレバーを押し込み、レンズを取り付けた時とは逆の方向に回して外します。

●ボディーやレンズのマウント面にレンズ情報接点やAFカプラーがあります。キズを付けたり、汚したりしないでください。汚れたときは、清潔な乾いた布で拭いてください。

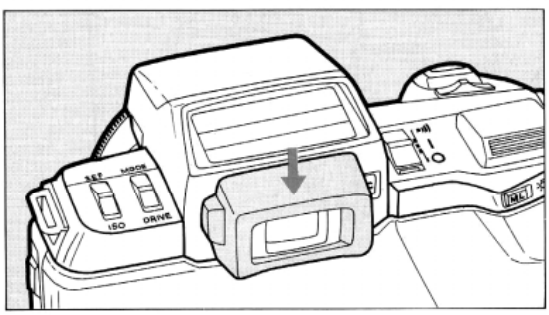
4. 視度調節をします



ファインダー像がはっきり見えるように、視度を合わせてからご使用ください。

●視度調節は、カメラを明るい方に向け、ピントは合わせない状態で視度調節レバーを左右に動かして、ファインダー中央のフォーカスフレーム［ ］の線が最もはっきり見えるところで止めます。
●視度調節範囲は、＋1.5～－2.5D〔ディオプトリー〕です。

5. アイカップFを取り付けます



アイカップFは、カメラのアクセサリー取り付け溝に差し込んで使用します。

●別売りの「視度調整レンズM」や「マグニファイヤーF$_B$」を使うときは、アイカップFを取り外してご使用ください。
●アイカップと視度調整レンズを併せて使いたいときは、別売りの「アイカップMII」と「67用視度調整レンズ」を組み合わせてください。